



県道前橋安中富岡線(別保工区) 歩道整備



本宿3地区 かけ崩れ対策



県道富岡神流線(仲町通り) 電線共同溝

よ く わ か る 公 共 事 業

～ 公共事業 の 目的、効果、進捗状況 を 情報発信 ～

甘楽富岡地域

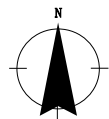
令和7年度版

甘楽富岡地域

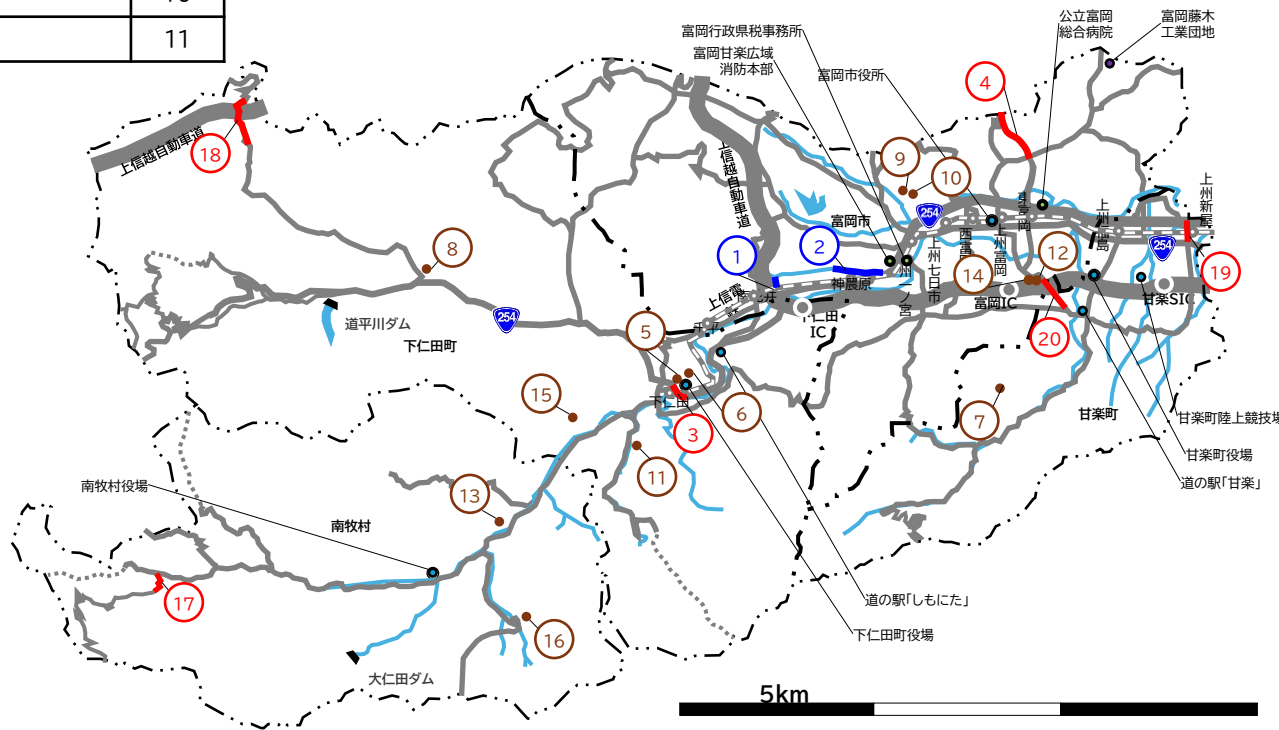


番号	事業内容	施工箇所	路河川名	ページ番号
1	放水路整備	富岡市中沢～蚊沼	一級河川蚊沼川	1
2	河川改修	富岡市神農原	一級河川蚊沼川	2
3	現道拡幅	下仁田町下仁田	国道254号(東町工区)	3
4	バイパス整備	安中市安中～富岡市上高尾	西毛広域幹線道路(安中富岡工区)	4
5	土石流対策	下仁田町下仁田	滝の入沢	5
6		下仁田町下仁田	清泉寺沢	6
7		甘楽町秋畑	裏根川	7
8	がけ崩れ対策	下仁田町西野牧	根小屋1地区	8
9	土石流対策	富岡市黒川	黒川A	9
10		富岡市黒川	黒川B	10
11		下仁田町青倉	夏内沢	11

番号	事業内容	施工箇所	路河川名	ページ番号
12	がけ崩れ対策	富岡市内匠	内匠東地区	12
13		南牧村千原	千原2地区	13
14	地すべり対策	富岡市内匠	内匠地区	14
15	土石流対策	下仁田町下郷	大萱沢	15
16	がけ崩れ対策	南牧村檜沢	大倉3地区	16
17	現道拡幅(代行)	南牧村熊倉	村道大上線	17
18	現道拡幅	下仁田町西野牧	県道下仁田軽井沢線(和美峠工区)	18
19		甘楽町金井～高崎市吉井町片山	県道金井高崎線(金井工区)	19
20	歩道整備	甘楽町善慶寺	県道富岡神流線(善慶寺工区)	20



凡 例	
【事業分野区分】	
—	道路事業
—	河川事業
●	砂防事業
●	その他事業(下水、住宅等)
【その他】	
●	主要な防災拠点(第1次防災拠点)
●	主要な防災拠点(第1次防災拠点以外)
●	主要な物流拠点(産業団地)



事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

河川氾濫による水害リスクを軽減するため

放水路をつくり、浸水被害が多発する
地域へ流す水の量を減らします

地元の
声

・大雨が降ると蚊沼川はいつも溢れそうになるので被害が出ないか心配。(地域住民)



事業の概要

- 事業箇所: 富岡市中沢～蚊沼
- 事業内容: 放水路整備 延長 490m
- 事業期間: 平成27年度～

- 現在の流下能力: 約15m³/s(本川)
- 計画流量 : 30m³/s(放水路)

事業前

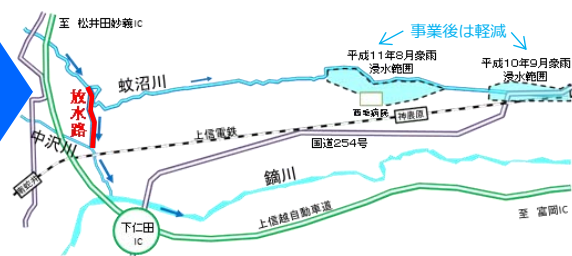
- ◆ 平成11年8月豪雨、平成10年9月台風5号等により蚊沼川が氾濫し、西毛病院や周辺の家屋において浸水被害が発生しました。



事業前の状況

事業後

- ◆ 新しく放水路を整備することで、豪雨により増えた蚊沼川の水を別の川へ流し、蚊沼川下流域へ流れる水の量を減少させ、河川氾濫による浸水被害のリスクを軽減します。



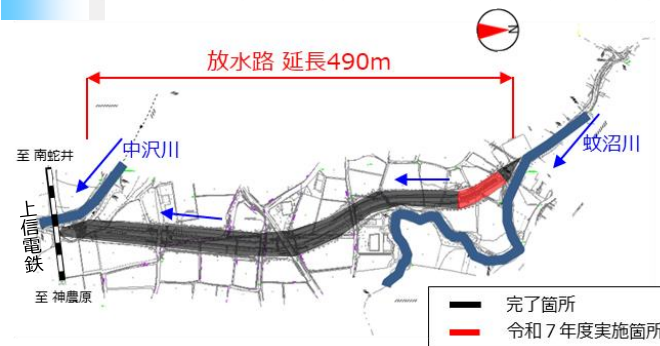
事業後の状況

成果を示す項目	実施前
想定氾濫面積	55.1ha
想定氾濫区域内の浸水戸数	86戸
想定氾濫区域内の主な公共施設	国道、鉄道、病院

実施後(目標)
0ha
0戸
0施設

※蚊沼川の河道改修完了後

事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和6年度に暫定供用を開始して河川氾濫による浸水被害のリスクを軽減しました。令和7年度は残る護岸工事等を実施し、放水路整備が完了する予定です。



事業のすすみ具合

事業開始●

●●● 事業完了

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

河川氾濫による水害リスクを軽減するため

川幅を拡げて流せる
水の量を増やします

地元の声

・大雨が降ると蚊沼川はいつも溢れそうになるので被害が出ないか心配。(地域住民)

事業の概要

- 事業箇所: 富岡市神農原
- 事業内容: 河道拡幅 延長2,000m
- 事業期間: 平成27年度～

- 現在の流下能力: 約15m³/s
- 計画流下能力 : 40～20m³/s

事業前

- ◆ 平成11年8月豪雨、平成10年9月台風5号等により蚊沼川が氾濫し、西毛病院や周辺の家屋において浸水被害が発生しました。



事業前の状況

事業後

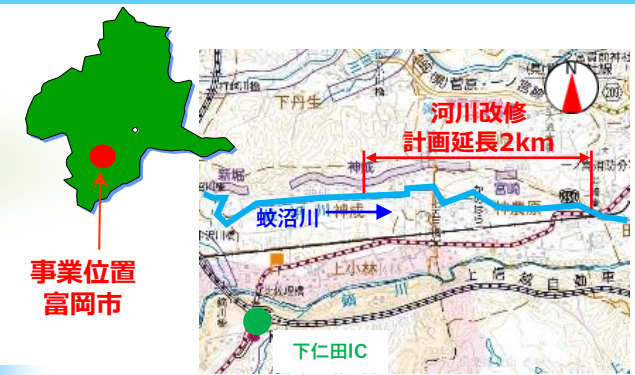
- ◆ 川幅等を拡げることで、大雨の時に川に流せる水の量を増やし、河川氾濫による浸水被害のリスクを軽減します。



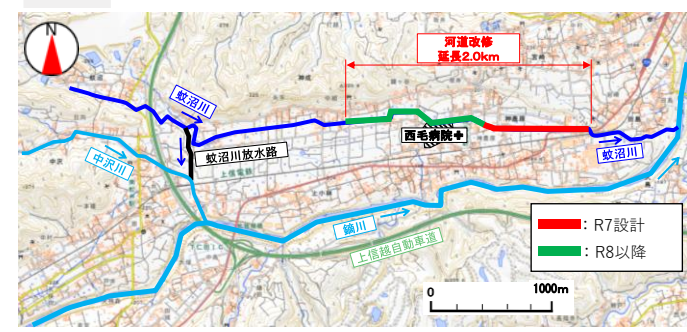
事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
想定氾濫面積	55.1ha
想定氾濫区域内の浸水戸数	86戸
想定氾濫区域内の主な公共施設	国道、鉄道、病院

実施後(目標)
0ha
0戸
0施設



事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和6年度に測量を実施しました。
令和7年度は下流区間の設計を進めます。



事業のすすみ具合

事業開始

事業完了

どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

道路を拡幅します

地元
の声

- ・災害時における安全な通行を確保してほしい。（地元住民）
- ・踏切前後は幅員が狭く、自動車同士が安全にすれ違える道路が必要。（地元住民）
- ・通学路なので安全に歩ける歩道も整備してほしい。（地元住民）

事業の概要

- 事業箇所：下仁田町下仁田
- 事業内容：現道拡幅 延長 0.4km 道路幅 10.25m
- 事業期間：平成30年度～
- 緊急輸送道路：該当（第一次緊急輸送道路）
- 重要物流道路：該当（代替・補完路）

- 現在の交通量：11,485台/日（自動車）
（R3年度） 7人/12時間（歩行者）
26台/12時間（自転車）

事業前

- ◆ 現況は道路幅員が狭いうえ見通しも悪いことから、自動車のすれ違いに注意が必要であり、緊急輸送道路でありながら、円滑な通行に支障をきたしています。



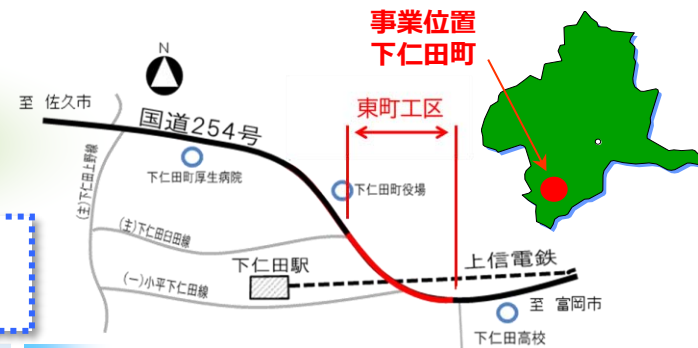
事業後

- ◆ 車道が広くなり、歩道を設置することで円滑な交通が可能となり、災害時にも機能する安全な通行空間を確保します。

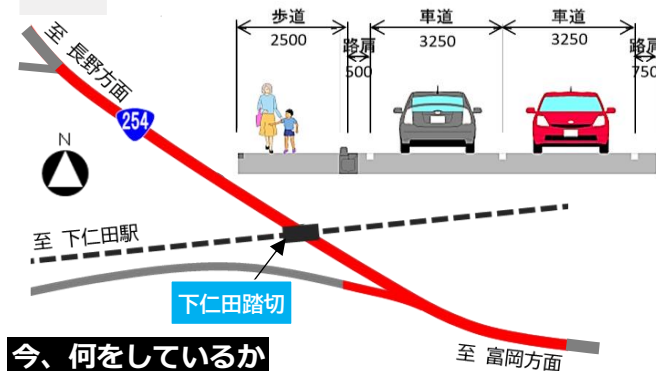


成果を示す項目	実施前
車両同士のすれ違い	すれ違い困難 （幅員5.5m）

実施後（目標）
すれ違い容易に （幅員7.75m）



事業の進捗状況（令和7年3月末現在）



今、何をしているか

令和7年度は踏切前後の道路改良工事を実施します。



西毛広域幹線道路（安中富岡工区）バイパス整備事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

地元
の声

- ・災害時における安全な通行を確保してほしい。（地元住民）
- ・富岡から前橋への通勤時間が短くなるので早く完成してほしい。（地元住民）

事業の概要

- 事業箇所：安中市安中～富岡市上高尾
- 事業内容：バイパス整備 延長 6.3km 道路幅 10.5～17.0m
- 事業期間：平成28年度～
- 緊急輸送道路：該当（第1次緊急輸送道路）

- 現在の交通量：12,592台/日（現道）（R3年度）
- 計画交通量：9,700台/日（バイパス）（R22年度） 7,900台/日（現道）

事業前

- ◆ 現道では通勤時間帯を中心に交通渋滞が発生しており、移動に時間がかかるため、高崎・安中～富岡を結ぶ防災・物流拠点集積エリア間の円滑な移動に支障があります。



事業前の状況

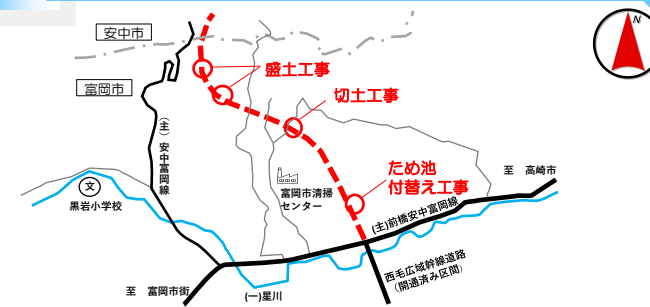
事業後

- ◆ バイパス整備により高崎・安中～富岡エリア間の移動が円滑になり、災害時における広域的な救命救助や被災地への支援物資輸送などが可能となります。



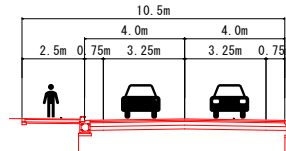
事業後のイメージ

事業の進捗状況（令和7年3月末現在）



今、何をしているか

令和7年度は用地取得のほか、道路改良工事を行います。



成果を示す項目

実施前

道路閉塞が生じにくく早期に
啓開できる幅員の確保

約8.2m（（主）前橋安中富岡線）
※最小幅員

安中市役所～富岡IC

約28分

実施後（目標）

約10.5m（2.3m拡幅）

約16分（12分短縮）

事業のすすみ具合

事業開始

事業完了

どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

地元 の声

- ・大雨の時は山から水と土砂が流れ出てくるので不安だ。(地元住民)
- ・近年の大雨で我が家も被害を受けないか心配だ。(地元住民)

砂防堰堤を
つくります

事業位置
下仁田町



事業の概要

- 事業箇所: 下仁田町下仁田
- 事業内容: 砂防堰堤 1基
- 事業期間: 令和元年度～

事業前

- ◆ 溪流が荒廃しており、大雨等により土石流や流木が発生するおそれがあります。



事業前の状況

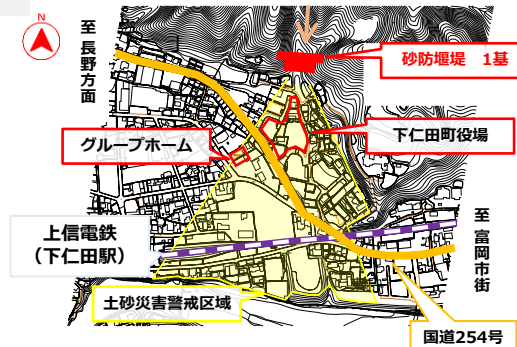
事業後

- ◆ 砂防堰堤の整備により、大雨等による土石流や流木の被害のリスクを軽減します。



事業後のイメージ

事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は管理用道路及び砂防堰堤工事を実施します。



成果を示す項目

実施前

被害を受けるおそれのある人家	93戸
被害を受けるおそれのある重要施設等	3施設 (下仁田町役場、グループホームグリーテラス)
被害を受けるおそれのある重要交通網	2箇所 (国道254号、上信電鉄)

実施後(目標)

0戸
0施設
0箇所

事業のすすみ具合

事業開始●

● 事業完了

砂防堰堤計画位置

どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

地元
の声

- ・大雨の時は山から水と土砂が流れ出てくるので不安だ。(地元住民)
- ・近年の大雨で我が家も被害を受けないか心配だ。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 甘楽町秋畑
- 事業内容: 砂防堰堤 1基
- 事業期間: 令和3年度～

事業前

- ◆ 溪流が荒廃しており、大雨等により土石流や流木が発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 砂防堰堤の整備により、大雨等による土石流や流木の被害のリスクを軽減します。



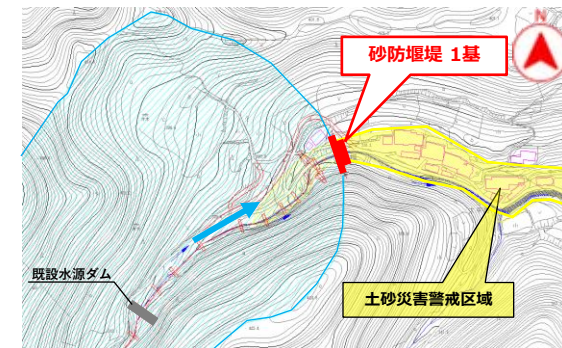
事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	7戸
被害を受けるおそれのある重要施設等	1施設 (14区住民センター)

実施後(目標)
0戸
0施設

砂防堰堤を
つくります事業位置
甘楽町

事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は用地取得を進め、工事用道路をつくるための工事に着手します。



堰堤計画位置

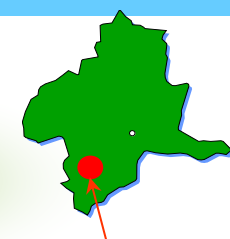
どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

防護柵をつくります

地元の声

・この場所は過去に崩れたこともあるため、早く対策して欲しい。（地元住民）



事業位置
下仁田町



事業の概要

- 事業箇所：下仁田町西野牧
- 事業内容：防護柵工 L=200.5m
- 事業期間：令和3年度～

事業前

- ◆ 平成29年8月の豪雨により、がけ崩れが発生しました。



事業前の状況

事業後

- ◆ 防護柵をつくることにより、落石や崩壊土砂を受け止め、がけ崩れによる被害のリスクを軽減します。

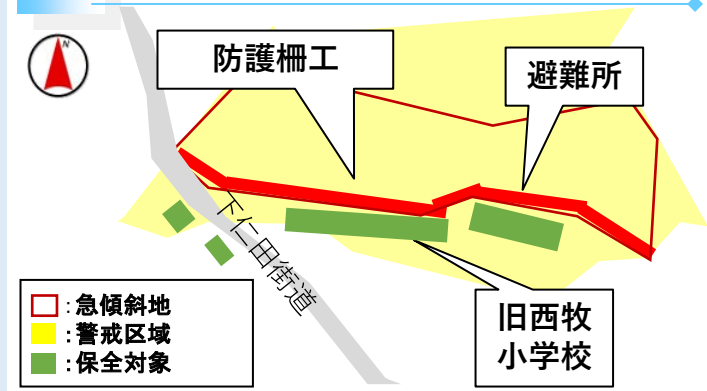


事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	3戸
被害を受けるおそれのある重要施設等	1施設 (旧西野牧小学校)

実施後(目標)
0戸
0施設

事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は東側の防護柵工事を行います。



どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

土石流対策施設を
つくります地元
の声

- ・大雨の時は山から水と土砂が流れ出てくるので不安だ。(地元住民)
- ・保育園に預けている子供が被害にあわないか心配だ。(保育園利用者)

事業の概要

- 事業箇所: 富岡市黒川
- 事業内容: 土石流対策施設 1基
- 事業期間: 令和4年度～

事業前

- ◆ 渓流が荒廃しており、大雨等により土石流や流木が発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 砂防堰堤の整備により、大雨等による土石流や流木の被害のリスクを軽減します。



事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	52戸
被害を受けるおそれのある重要施設等	2施設 (かしの木保育園、 集会所)

実施後(目標)
0戸
1施設

事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は土石流対策施設の設計を実施します。



どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

砂防堰堤を
つくります地元
の声

- ・大雨の時は山から水と土砂が流れ出てくるので、不安だ。(地元住民)
- ・保育園に預けている子供が被害にあわないか心配だ。(保育園利用者)

事業の概要

- 事業箇所: 富岡市黒川
- 事業内容: 砂防堰堤 1基
- 事業期間: 令和4年度～

事業前

- ◆ 溪流が荒廃しており、大雨等により土石流や流木が発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 砂防堰堤の整備により、大雨等による土石流や流木の被害のリスクを軽減します。



事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	44戸
被害を受けるおそれのある重要施設等	1施設 (かしの木保育園)

実施後(目標)
0戸
0施設

事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は砂防堰堤の設計を実施します。



どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

砂防堰堤を
つくります地元
の声

- ・大雨の時は山から水と土砂が流れ出てくるので不安だ。(地元住民)
- ・近年の大雨で我が家も被害を受けないか心配だ。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所：下仁田町青倉
- 事業内容：砂防堰堤 1基
- 事業期間：令和3年度～

事業前

- ◆ 渓流が荒廃しており、大雨等により土石流や流木が発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 砂防堰堤の整備により、大雨等による土石流や流木の被害のリスクを軽減します。

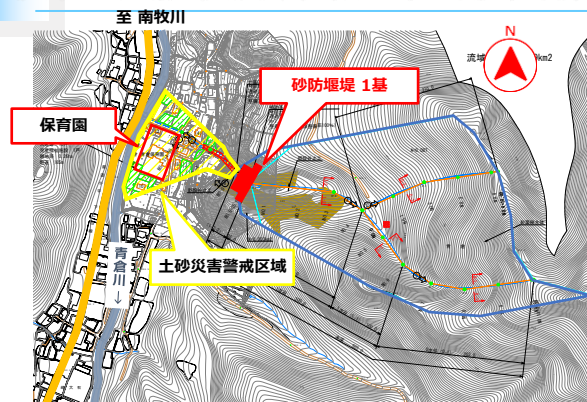


事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	11戸
被害を受けるおそれのある重要施設等	1施設 (青倉保育園)

実施後(目標)
0戸
0施設

事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は砂防堰堤工事を推進します。



砂防堰堤計画位置

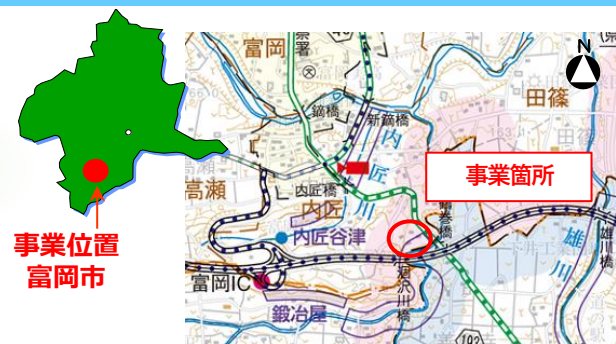
どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

地元の声

- ・最近の大雨による被害を見ていると、山が近いので我が家も土砂崩れが不安。(地元住民)
- ・土砂崩れが怖いので、工事をしてくれるのを待っている。(地元住民)

防護柵と擁壁をつくります



事業の概要

- 事業箇所: 富岡市内匠
- 事業内容: 防護柵工 L=230m 擁壁工 L=70m
- 事業期間: 令和5年度～

事業前

- ◆ 斜面が急であるため、大雨等でがけ崩れが発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 防護柵・擁壁をつくることにより、落石や崩壊土砂を受け止め、がけ崩れによる被害のリスクを軽減します。

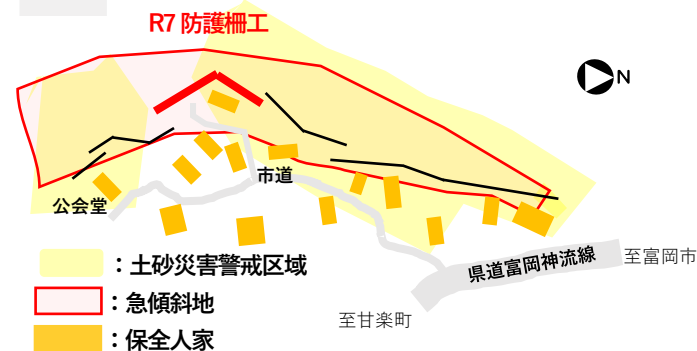


事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	14戸
被害を受けるおそれのある重要交通網	1路線 (県道富岡神流線)

実施後(目標)
0戸
0路線

事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は用地取得を実施し、着手可能な範囲から工事を実施します。



事業のすすみ具合

事業開始

事業完了

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

吹付と擁壁をつくります

地元の声

- ・大雨の時は山が崩れるのではないかと不安。(近隣住民)
- ・土砂災害が怖いので早く工事をしてほしい。(近隣住民)

事業の概要

- 事業箇所: 南牧村千原
- 事業内容: 法枠工 A=813m²、切土工 V=1,523m³、擁壁工 L=102m
- 事業期間: 令和3年度～

事業前

- ◆ 斜面が急であるため、大雨等でかけ崩れが発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 擁壁・法枠工により斜面を保護し、落石や崩壊土砂を受け止め、かけ崩れによる被害のリスクを軽減します。



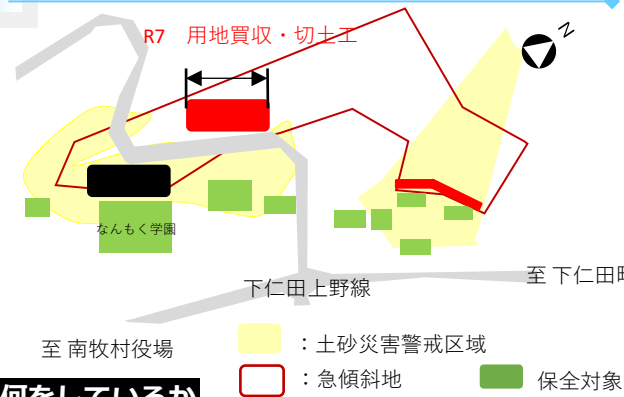
完成後 (B-1工区)

成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	9戸
被害を受けるおそれのある重要交通網	1路線 (県道下仁田上野線)

実施後(目標)
0戸
0路線



事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度はB-2工区の工事を実施します。



着手前 (B-2工区)

事業のすすみ具合



事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

地すべり防止施設をつくります

地元の声

・過去にも近隣で地すべりが起こっており、自宅の近くでも地すべりが起きそうで不安。(地元住民)



事業の概要

- 事業箇所: 富岡市内匠
- 事業内容: 排土工、地下水排除工、法枠工
- 事業期間: 令和3年度～

事業前

- ◆ 令和元年にAブロックで地すべりが起こりました。ほかのブロックでも地すべりによる被害が発生するおそれがあります。



事業前の状況

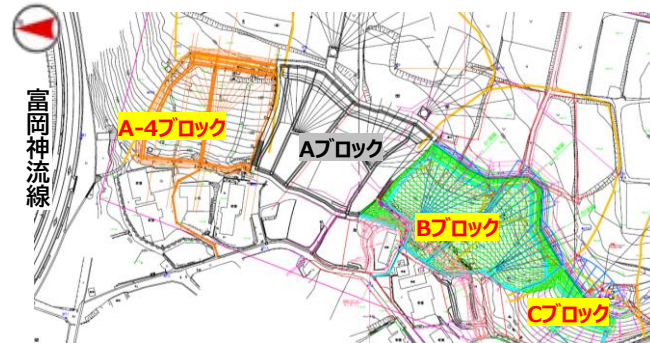
事業後

- ◆ 地すべり対策工を実施し、地すべりの活動を抑えることで、地すべりによる被害のリスクを軽減します。



Aブロック対策完了後の状況

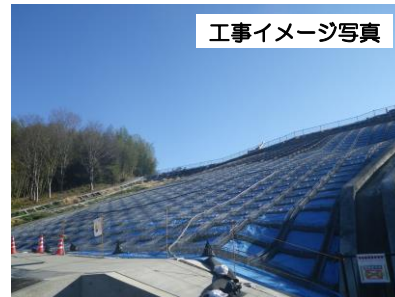
事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度はBブロックの工事を推進します。

工事イメージ写真



成果を示す項目

被害を受けるおそれのある人家

実施前

26戸

実施後(目標)

0戸

事業のすすみ具合

事業開始

事業完了

どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

地元
の声

- ・大雨の時は山から水と土砂が流れ出てくるので、不安。(地元住民)
- ・近年の大雨で我が家も被害を受けないか心配。(地元住民)

砂防堰堤を
つくります

事業の概要

- 事業箇所: 下仁田町下郷
- 事業内容: 砂防堰堤 1基
- 事業期間: 令和4年度～

事業前

- ◆ 溪流が荒廃しており、大雨等により土石流や流木が発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 砂防堰堤の整備により、大雨等による土石流や流木の被害のリスクを軽減します。



事業後のイメージ(一例)

成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	13戸
被害を受けるおそれのある迂回路のない道路	1箇所 (県道下仁田上野線)

実施後(目標)
0戸
0箇所

事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は用地調査
及び地質調査を行います。



どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

擁壁をつくります

地元の声

- ・大雨の時は山が崩れるのではないかと不安に思っている。(近隣住民)
- ・土砂災害が怖いので工事をしてくれるのを待っている。(近隣住民)



事業の概要

- 事業箇所: 南牧村檜沢
- 事業内容: 擁壁工 L=158m
- 事業期間: 令和元年度～

事業前

- ◆ 斜面が急であるため、大雨等でがけ崩れが発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 擁壁をつくることにより、落石や崩壊土砂を受け止め、がけ崩れによる被害のリスクを軽減します。



事業後のイメージ

事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は測量及び詳細設計を実施します。



成果を示す項目	実施前
被害を受けるおそれのある人家	5戸

実施後(目標)
0戸

事業のすすみ具合



村道大上線 現道拡幅（代行）事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

安全で快適な移動を可能にするため

地元の声

- ・道路の幅員が狭く、車両がすれ違うのが大変。（地域住民）
- ・落石や沢からの土砂流出に危険を感じる。（地域住民）

事業の概要

- 事業箇所：南牧村熊倉
- 事業内容：現道拡幅 延長0.4km、幅員6.0m
- 事業期間：平成30年度～

事業前

- ◆道路の幅が狭く、大型車のすれ違いが困難なため、円滑な通行に支障があります。



事業前の状況

事業後

- ◆道路の幅を広げ、大型車のすれ違いを容易にすることで、円滑な通行空間を確保します。

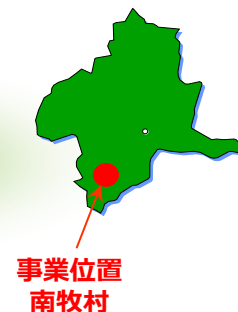


事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
車両同士のすれ違い	すれ違い困難(4.5m)
落石危険箇所数	5箇所

実施後(目標)
すれ違い容易(6.0m)
0箇所

道路の拡幅と落石を防ぐ施設をつくります

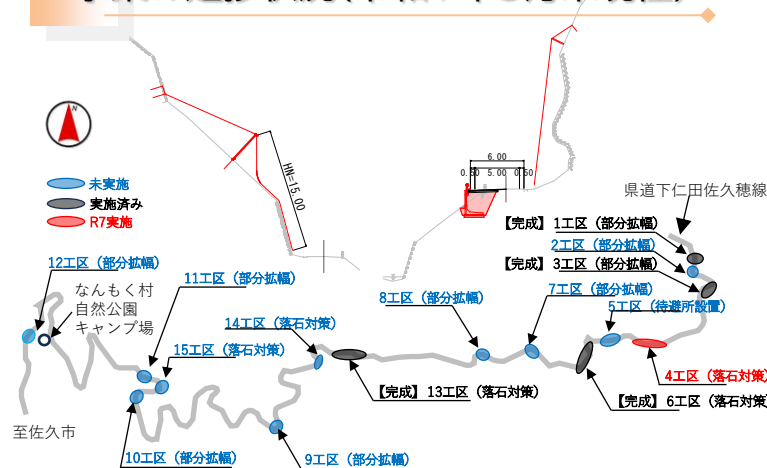


事業位置
南牧村



道路改良L=430m

事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は4工区の落石対策工事に着手します。



事業のすすみ具合

事業開始●

事業完了●

県道下仁田軽井沢線(和美峠工区) 現道拡幅事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

安全で快適な移動を可能にするため

道路を拡幅します

地元の声

- ・幅員が狭く急勾配のため大型車の通行が困難。早期に整備してほしい。(地元住民)
- ・軽井沢から観光客を呼び込むための周遊ルートを整備し、町の活性化を図りたい。(地元住民)

事業の概要

- 事業箇所: 下仁田町西野牧
- 事業内容: 現道拡幅 延長 0.6km 道路幅 6.0m
- 事業期間: 平成24年度～
- 現在の交通量: 2,623台/日(自動車) (R3年度)

事業前

- ◆ 道路が狭く線形も悪いので、車両のすれ違いに支障をきたしています。



事業前の状況

事業後

- ◆ 道路を拡幅することで、車両のすれ違いを容易にし、円滑な通行を確保します。



事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
車両同士のすれ違い	すれ違い困難(幅員4.0m)

実施後(目標)
すれ違い容易(幅員6.0m)

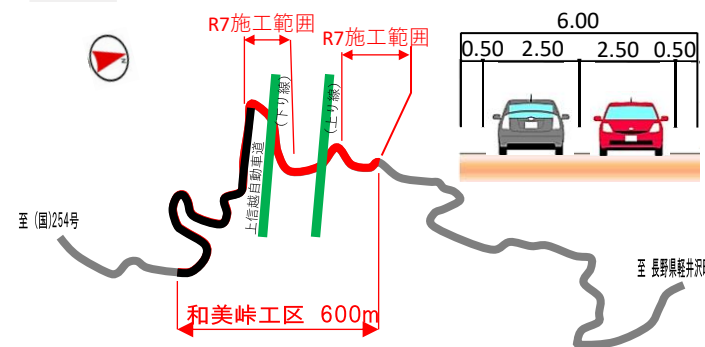
事業のすすみ具合

事業開始●

● 事業完了



事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は、道路改良工事を実施します。



R7工事予定箇所

県道金井高崎線（金井工区）現道拡幅事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

物流の効率化による産業の発展を図るため

道路を拡幅します

地元の声

- ・近隣の工業団地が開業すると交通量が多くなりそう。道路を広げてほしい。（地元住民）
- ・道路が狭く線形も悪い。歩道もなく駅利用者が危険な状態。（学校関係者、地元企業）

事業の概要

- 事業箇所：甘楽町金井～高崎市吉井町片山
- 事業内容：現道拡幅 延長 0.7km 道路幅 12.0m
- 事業期間：平成28年度～
- 現在の交通量：1,965台/日（自動車）
57人/12時間（歩行者）
33台/12時間（自転車）

事業前

- ◆ 事業箇所は道路が狭く、大型車のすれ違いが困難なため、円滑な通行に支障があります。



事業前の状況

事業後

- ◆ 道路が広がり、大型車のすれ違いが容易になることで、円滑な通行が確保されます。



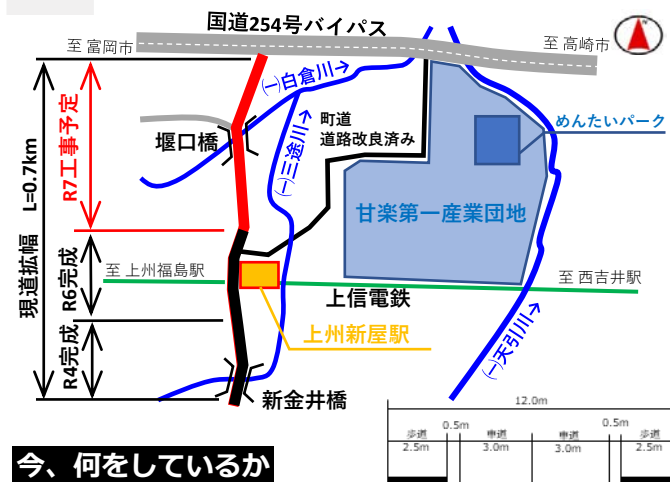
事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
大型車両同士のすれ違い	すれ違い困難（幅員4.0m）

実施後（目標）
すれ違い容易（幅員12.0m）



事業の進捗状況（令和7年3月末現在）



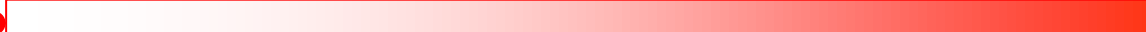
今、何をしているか

令和7年度は、道路改良工事を実施します。



事業のすすみ具合

事業開始



事業完了

県道富岡神流線（善慶寺工区）歩道整備事業

事業継続中

どのような未来を目指すための事業か

こどもたちが安心して通学できる環境を確保するため

歩道を整備します

地元の声

- ・歩道が片側だけで横断歩道も少なく危険なため、両側に歩道がほしい(地元住民)
- ・路肩が狭く、大型車交通量も多いため自転車走行時に危険を感じる(学校関係者)

事業の概要

- 事業箇所: 甘楽町善慶寺
- 事業内容: 歩道整備 延長920m
自転車通行帯1.5m 歩道幅員2.5m
- 事業期間: 令和4年度～
- 現在の交通量: 5,361台/日(自動車)
(R3年度) 3人/12時間(歩行者)
24台/12時間(自転車)

事業前

- ◆ 路肩が狭く、歩行者や自転車が交通事故の危険にさらされています。



事業前の状況

事業後

- ◆ 路肩を確保し、歩道も整備されることで車両・自転車・歩行者の安全な通行が可能となります。



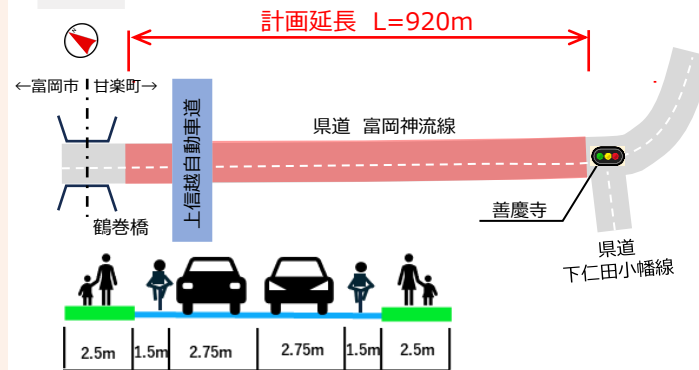
事業後のイメージ

成果を示す項目	実施前
幅員2m以上歩道の整備率	50%

実施後(目標)
100%



事業の進捗状況(令和7年3月末現在)



今、何をしているか

令和7年度は用地取得を行います。



事業のすすみ具合

事業開始



事業完了